

## 惑星のすがた

### 水星 (Mercury)

#### ● 基本データ ●

〈直径〉0.38(地球=1) 〈質量〉0.06(地球=1) 〈密度〉5.43g/cm<sup>3</sup>  
〈自転周期〉58.65日 〈公転周期〉0.24年 〈衛星の数〉0  
〈重力〉0.38(地球=1) 〈太陽からの平均距離〉0.4(地球=1)

重力が小さいために気体を引きとめる力が弱く、大気がほとんどありません。そのため、表面には多くのクレーターが見られます。また、表面温度が昼間は400℃以上、夜間には-150℃以下にもなり、最も温度差の大きい惑星です。



### 金星 (Venus)

#### ● 基本データ ●

〈直径〉0.95(地球=1) 〈質量〉0.82(地球=1) 〈密度〉5.24g/cm<sup>3</sup>  
〈自転周期〉243.02日 〈公転周期〉0.24年 〈衛星の数〉0  
〈重力〉0.91(地球=1) 〈太陽からの平均距離〉0.7(地球=1)

二酸化炭素を主成分とする厚い雲におおわれ、これが光をよく反射するため、表面のようすは地球からの観測ではよくわかりません。また、その二酸化炭素による温室効果のため、表面温度は450℃以上にもなっています。



### 地球 (Earth)

#### ● 基本データ ●

〈直径〉12756km 〈質量〉5974×10<sup>24</sup>kg 〈密度〉5.52g/cm<sup>3</sup>  
〈自転周期〉0.9973日 〈公転周期〉0.24年 〈衛星の数〉1  
〈重力〉1.00(地球=1) 〈太陽からの平均距離〉1億4960万km

太陽系の中で、唯一水が存在する惑星であり、光合成のはたらきによって、多くの生物が生息しています。地表は陸地と海に分けられ、その面積の割合はおおよそ3:7です。



### 火星 (Mars)

#### ● 基本データ ●

〈直径〉0.53(地球=1) 〈質量〉0.11(地球=1) 〈密度〉3.93g/cm<sup>3</sup>  
〈自転周期〉1.0260日 〈公転周期〉0.24年 〈衛星の数〉2  
〈重力〉0.38(地球=1) 〈太陽からの平均距離〉1.5(地球=1)

赤茶けた色をしており、クレーターだけでなく、かつて川が流れたような地形も見られます。地球の約0.7%程度のうすい大気を持ち、その主成分は二酸化炭素です。



### 木星 (Jupiter)

#### ● 基本データ ●

〈直径〉11.2(地球=1) 〈質量〉317.8(地球=1) 〈密度〉1.33g/cm<sup>3</sup>  
〈自転周期〉0.414日 〈公転周期〉11.9年 〈衛星の数〉61  
〈重力〉2.37(地球=1) 〈太陽からの平均距離〉5.2(地球=1)

太陽系最大の惑星で、表面は水素やヘリウムなどの気体でできています。そのため、硬い地表はありません。また、小口径の望遠鏡でも数本の縞模様を見ることができます。



### 土星 (Saturn)

#### ● 基本データ ●

〈直径〉9.4(地球=1) 〈質量〉95.2(地球=1) 〈密度〉0.69g/cm<sup>3</sup>  
〈自転周期〉0.444日 〈公転周期〉29.5年 〈衛星の数〉31  
〈重力〉0.94(地球=1) 〈太陽からの平均距離〉9.6(地球=1)

木星と同じように、表面は水素やヘリウムの気体でできており、縞模様が見られます。



### 天王星 (Uranus)

#### ● 基本データ ●

〈直径〉4.0(地球=1) 〈質量〉14.5(地球=1) 〈密度〉1.27g/cm<sup>3</sup>  
〈自転周期〉0.718日 〈公転周期〉84.0年 〈衛星の数〉21  
〈重力〉0.89(地球=1) 〈太陽からの平均距離〉19.2(地球=1)

1781年、イギリスのウィリアム・ハーシェルによって発見されました。自転軸がほぼ横倒しの状態で公転しています。

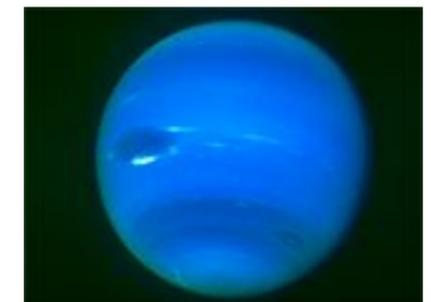


### 海王星 (Neptune)

#### ● 基本データ ●

〈直径〉3.9(地球=1) 〈質量〉17.2(地球=1) 〈密度〉1.64g/cm<sup>3</sup>  
〈自転周期〉0.671日 〈公転周期〉165年 〈衛星の数〉11  
〈重力〉1.11(地球=1) 〈太陽からの平均距離〉30.1(地球=1)

イギリスのアダムスとフランスのルベリエによって、存在が予測され、1846年、ドイツのガレによって発見されました。



### 準惑星

2006年8月24日、チェコのプラハで開催された国際天文学連合(IAU)の総会で、惑星に関する新しい定義が採択され、1930年に第9惑星として発見された冥王星は、準惑星という新しい分類に入れられました。このほか、2003UB313や小惑星ケレスが準惑星として認められました。